

翔

あゆみ

1997~2006

社団法人ガールスカウト日本連盟

神奈川県第48団



B P のことば

愛の火花は、
 誰の心の中にもある。
 もしこの愛を使わなければ、
 この愛は無駄になり、
 やがて消えてしまう。
 しかし、この愛は使えば日ごとに
 いっそう強く、いっそう大きく
 生きたものとなる。



やくそく

テンダーフット

わたくしは ガールスカウトです。

わたくしは よくみて よくききます。

そして みんなと なかよくします。

ガールスカウト

私は

神(仏)に対するつとめを行い

地域と国と世界への責任を果たし

人に役立つことを心がけ

ガールスカウトのおきてを守ります。

おきて

1. 私はいつも明るく、勇気を持ちます。
2. 私はいのちあるものを大切にします。
3. 私はすべての人と友達になり、他のガールスカウトとは姉妹です。
4. 私は礼儀を正しくします。
5. 私は時間と資源を大切に使います。
6. 私は自分で考えて行動します。
7. 私は言葉と行動に責任を持ちます。
8. 私は誠実であるように努めます。



虹を育てて

ガールスカウト神奈川県支部

支部長 小山 文子

発団 30 周年おめでとう御座います。

48 団と聞くと若いリーダー揃いの団と思うのは私だけでしょうか？

支部行事・地区行事に参加し、山椒のようにピリッとしていた多数のヤングリーダー達の顔がうかんできます。その後ろには「ちゃんと控えているから大丈夫…」と、ママさんリーダー達が土台を固めていたからこそこの 30 年が有るのですね？あの若手達の心意気は今も妹達に引き継がれていることと思います。人生には行動したい時期と行動できる時期がピッタリと合うことがなかなか有りません。又、ヤングリーダー達がママさんリーダーになって復活する時の為に、今は西団委員長を頭にオーソリティのリーダー達がスカウトの育成に頑張っているのだと思います。

話は変わりますが、ガールスカウトセンターで虹を見たことのあるスカウトが沢山居ることと思います。虹は七色であるから美しいのですね。赤は赤の分量で・緑は緑の分量で・紫は紫のパートで夫々が分にあった働きで一本の虹が皆の感嘆の声を受けるのです。青が強くて・黄色が濃すぎてもいけないのです。最初の話のように夫々のカラーが揃った 48 団という虹がどのように継続して大きくなり、皆様の賞賛を得るのか？将来に期待してやみません。



発団 30 周年によせて

河合学園玉幼稚園

園長 河合 光利

ガールスカウト神奈川県第 48 団の皆様、発団 30 周年まことにおめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。30 年の長きにわたって活動を続けられてこられましたことは団委員長の西様をはじめ、役員の皆様、団員の皆様の熱意と協力があったからこそだと思います。今、スポーツ界で話題になる話といえば「次世代の育成」が大きな問題になっています。年配の指導者は多いのに、それを受け継ぐ若い世代のスポーツ離れが進み、会員の減少に歯止めがかからず、また協賛企業の離脱もあってクラブ運営に悩みをかかえている話をよく耳にします。このような状況がある中で、30 年間現在も活動を続けていらっしやることは本当に素晴らしいことだと思います。昨年末の記念式典では、発団からの歴史や諸活動での団員のみなさまのご活躍ぶり、そして団員の方々の“思い”を綴ったお手紙を拝見させていただきました。その時の印象はというと、ガールスカウト神奈川県第 48 団の活動を通して身についた経験というのは、団員の方々の一人ひとりの「人生の糧」となっているなというものでした。「人生の糧」と言える経験を得ることができることもまた、非常に重要なことといえるのではないのでしょうか。式典の中でお聴きした「ガールスカウトの精神」は、今のこのような時代になってもなお意味深く、また力強い響きがあるように思えてなりません。どうかこれからも団員となった若い世代の方々に「ガールスカウトの精神」をはじめ「人生の糧」となるたくさんの方々の経験を作っていただければと存じます。

簡単ではございますが、今後のガールスカウト神奈川県第 48 団のますますのご発展をお祈り申し上げます。私からのお祝いの言葉とさせていただきます。



発団 30 周年をむかえて

ガールスカウト神奈川県第 48 団

団委員長 西 葉子

発団 30 周年記念式典を平成 18 年 12 月 17 日、玉幼稚園をお借りしてささやかに和やかに挙行することができました。30 年の歴史の重みと責任の大きさを感じさせる 1 日でもありました。30 年の間、宿河原の地に根を張り（故）河合隆夫先生を育成会長としてお迎えし、温かいご指導のもと大勢のスカウトを育て社会へ送り出すことができました。これも偏に地域を始め神奈川県支部、行政、川崎市連絡会のご指導があったからこそと感謝申し上げます。又、30 年間歴代の団委員長、リーダー、保護者の皆様がガールスカウト運動にご理解、ご協力をして下さったお陰とありがたく思っております。

少子化の時代である今日、積古ごとにおいても多様な選択肢のある中でスカウト数の増減もありました。

21 世紀よりガールスカウトの教育システムが「教える」から「自ら考えて行動する」に変わりました。この事により補佐をしていく指導者の負担が更に多くなりました。しかし、スカウトは自分の意見や表現が豊かになり互いに話し合うゆとりもでき、楽しみながらスカウティングに励んでおります。日本連盟の使命として「少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために責任ある市民として、自ら考え、行動できる人となれるようにする」とあります。今、社会の中では殺伐した事件が多発しており悲しい事柄が毎日のように繰り返されています。だからこそ一人ひとりがお互いに思いやり、平和を追い求めながらこの運動を広めていかなければなりません。48 団一同がこれからも心をつにし、良き市民、世界の一員として活動を続けて参りたいと願っております。どうぞ温かく見守りご指導ください。



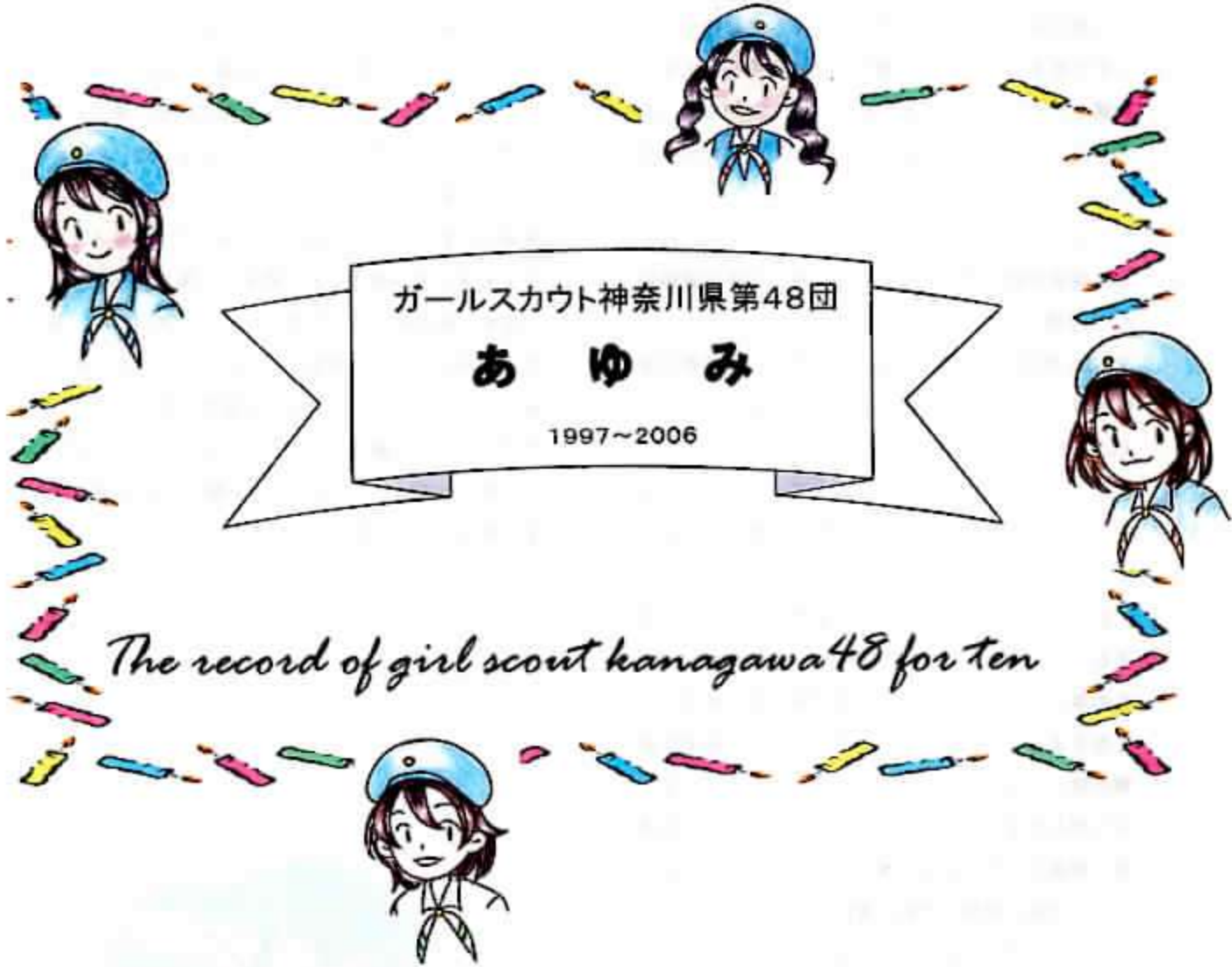
30 周年によせて

ガールスカウト神奈川県第 48 団

代表リーダー 長尾 みはる

発団 30 周年おめでとうございます。スカウトの皆さんと一緒に祝うことができて嬉しく思います。ガールスカウト活動を始めて 20 数年が経ち、たくさんのスカウト、リーダー、ご父母に出会い多くの事を学び、良き仲間となることができました。いろいろな団行事ではみんなが一つになって 48 団らしさが発揮されます。そんな 48 団が大好きです。年々スカウトも少しずつ増えてきて明るい元気な団となっています。私も辛いことや悲しいことがあった時、皆さんとお会いすると勇気づけられ、今では私と深く結びついています。これからも健康に気をつけてスカウティングを続け、スカウトの皆さんがリーダーへと巣立っていってくれることを願い、48 団がますます発展することを祈っております。





ガールスカウト神奈川県第48団

あゆみ

1997~2006

The record of girl scout kanagawa 48 for ten



昭和53年





1997年度





1998
年度



1999年度





2000年度

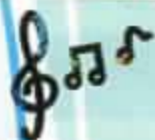






2001年度







2002年度





2003年度





THANK
YOU

♡

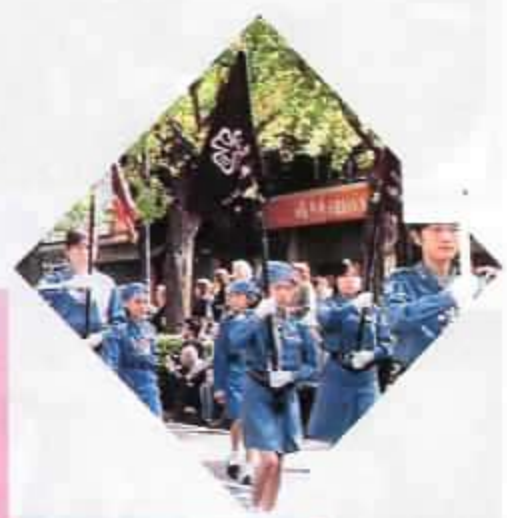
2004年度







2005年度





2006年度



2006 合営・入団式



ハッピー



30周年記念キャンプ



30周年を記念しての植樹



お楽しみが沢山のキャンプ





リーダー・スカウト
父母が心を1つに
ファイヤーを囲みました



30周年記念式典



48団を支えてくださる来賓の方々より祝辞をいただきました





シニア



レンジャー



ジュニア



テンダーフット ブラウニー



祝賀会・クリスマス会



48団ゆかりのお客様が沢山いらっしゃいました





リーダー・父母も交えて各部門で楽しい出し物

